

日本人フットサル選手の試合中の高強度プレーに関する研究

順天堂大学大学院  
スポーツ健康科学研究科  
学籍番号： 4119056  
氏名：渡邊 知晃

**【目的】**

本研究では IMU を用いて試合中におけるフットサル選手の PlayerLoad™ (以下, PL) と選手の高強度プレー (High intensity events: 以下, HIE) を測定し, それぞれの関係および, 起因するプレーについて解明することを目的とした.

**【方法】**

対象者は, F リーグ 1 部チーム所属する選手 23 名 (年齢:  $26.5 \pm 3.7$  歳、身長:  $172.9 \pm 5.3$  cm、体重:  $68.5 \pm 6.1$  kg) を上位群(以下, プロ), F リーグ 1 部サテライトチームと大学フットサル部に所属する選手 42 名(年齢:  $18.7 \pm 0.8$  歳、身長:  $172.5 \pm 5.7$  cm、体重:  $65 \pm 5.8$  kg) を下位群(以下, アマ)とした. 測定は, 令和元年 5 月 3 日にミズノフットサルプラザ味の素スタジアムで, プロを対象とした 1 試合, アマを対象とした 2 試合の合計 3 試合で行なった. 対象者は測定に際し, ウェアラブルデバイスを着用した. 測定項目は, PL, HIE, トランジションの頻度, パスの本数, シュートの本数とした.

**【結果】**

プロとアマを比較した結果, 身体的負荷の指標の 1 つとして用いられている PL および, HIE は, 前後半で減少傾向であることが示唆された.

**【結論】**

PL および HIE は, 前後半で減少し同じ傾向が示唆された. 特にインプレー中に生じたトランジションの頻度, パス成功本数, 縦パスの成功本数, シュート総本数において, プロがアマの値を上回っていることから, PL および HIE の値に影響を及ぼしている可能性が示唆された.